

仲間の現状を伝える陳情が 東村山市で採択

地域事業者に更なる支援を 市議を訪問し直接訴える

小平・東村山の両市では事業者向けに燃料の補助金を創立しました。
それを受けて、各分会では仲間づくり月間と並行して、各市議のもとに礼状と仲間の現状を訴える訪問行動に取り組んでいます。また、東村山市では8月10日に議会に提出した陳情が採択され、私たちの要求が大きく前進しました。

陳情採択は大きな前進 今こそ声をあげるとき

生活必需品だけでなく、仕事の材料や燃料も値上がり著しく、売上が減少し、生活が苦しくなっていくばかりです。
その中で東村山市で「引き続き、地域の零細業者への支援策を求める」陳情が採択されたことは組合活動が実を結んだ大きな成果です。ここから私たちの声を広げ、消費



白石えつ子議員に御礼状を手渡す
後藤忠行 分会長(柳瀬)

税減税、インボイス廃止など、生活と仕事の要求を訴えていきましょう。
10月と11月は「消費税5%への引き下げを求める請願署名」があります。あなたの一筆が大きな力になります。ともにたたかきましょう。

小平市議にも訪問行動 結びつきを強める

小川分会では、フォーラム小平の吉本ゆうすけ議員と日本共産党の細谷正議員を訪問、御礼状を手渡すとともに、建設業のおかれている過酷な現状を伝えました。

小平市では、陳情は議員に配布されるのみで、議会では採択されません。しかし、訪問で要求を直接伝えることができたのは組合活動にとって大きな進歩です。
私たちの要求を形にするためにも、市議と懇談を続け、結びつきを強めます。



小川の仲間たちと吉本議員
娘さんも笑顔で

20年以上変わらず 掛金3000円から

価格は据え置き 仲間に周知と促進を

土建の火災共済は、加入の最低口数は50口からで、一般的な木造戸建て住宅の場合、500万円の補償を、3000円の掛け金ですぐに加入できます。



10月から大手損保各社の保険負担額は全平均10%以上の値上げとなり、長期割安契約も最長で5年となります。対し、どけん火災共済、地震共済の価格は据え置きです。保険の見直しを考えている仲間は、この機にどけん共済をご検討ください。

揺れる私たちの生活 お困りごとは組合に

また、この10月は損保各社のほかにも、様々な品目で値上げが発表されています。食品や電気料金などの値上げが家計を圧迫するほか、雇用保険料や高齢者の医療費負担額も引き上げられ、私たちの暮らしに大きな衝撃を与えています。

この掛金を20年も維持できたのは仲間の加入があつてこそです。「助け合いの共済」生活のこと、仕事のこと、何かお困りごとがありましたらお気軽に支部までご相談ください。

食品	ビール・酒類10%以上値上げ
	加工肉 20%程度値上げ
	乳製品 10%程度値上げ
	調味料 15%程度値上げ
	菓子類 10%程度値上げ
大手寿司チェーン 100円皿廃止	
モノ	iphoneなど大幅値上げ
	タバコ30円程度値上げ
サービス	75歳以上の医療費が2割に
	雇用保険 事業主労働者ともに0.2%引き上げ
	火災保険 平均10%以上値上げ
	電気、ガス 上限価格値上げ

10月から値上げ一覧
こんなに変わる私たちの生活

第三十九回

仲間の作品コンクール

あなたの至極の一作をぜひお寄せください。今年も写真の部、文芸の部を設けて、それぞれ形式やテーマに沿って募集を行います。応募は支部窓口まで。

【期限】12月20日 支部必着

【要項】

- ①短歌
- ②俳句
- ③川柳

- ①組合活動
- ②スナップ
- ③風景
- ④課題



今年の課題写真のテーマは「私にとっての平和」です。ウクライナ情勢や参議院選後の改憲の動きなどをふまえて、建設業が平和の上で成り立つことをテーマとします。平和の大切さ、尊さが伝わる写真を募集します。

